

④ 玉川村の水道のこれから

玉川村でも水道のひかれていない所もあり、<sup>そんえい</sup>村営水道を広げる工事を行ったりしています。これから、人口がふえることもよそうされ、水の使用量がふえると思われます。北須川からの水だけでは、<sup>みずふそく</sup>水不足になることも考えられます。村でも、しょうらいの水の必要性を考え、<sup>れいげん</sup>水源をさがすためにボーリング等を行っています。しかし、水源を発見する以上に大切なことは、水をむだづかいしないようにすることです。

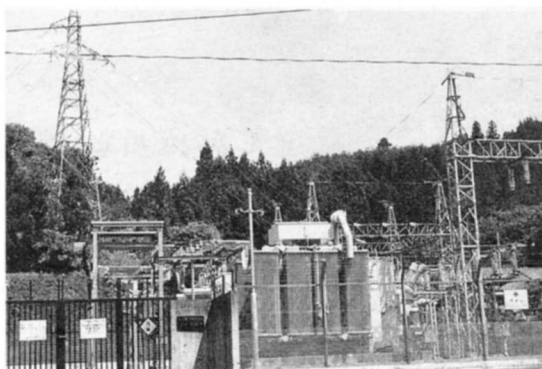
(3) わたしたちの生活と電気

わたしたちの身の回りには、電気を使うものがたくさんあります。電気は、わたしたちの生活をたいへん<sup>ゆた</sup>豊かにしています。電気はどのように作られ、使われているのでしょうか。

① 電気の送られかた

玉川村で最初に電とうがついたのは、大正4年でした。現在、石川町にある東北電力石川出張所<sup>しつちやうじょ</sup>では、昼間はもちろんのこと、夜でも<sup>じと</sup>事故や<sup>こしょう</sup>こしょうにそなえてはたらいています。玉川村に送られてくる電気は、石川変電所<sup>へんでんじょ</sup>から、国道118号線と県道須賀川、石川線にそって送られています。

石川変電所（石川町<sup>まがい</sup>境ノ内）



送電線<sup>そう でん せん</sup>

